

一般社団法人 日本 TDM 学会 第51回セミナー

【実施概要】

テーマ：薬剤師の業務・研究の展開にTDMの考え方を活かそう

日時：平成29年1月28日（土）12時30分～17時30分

会場：名城大学大学薬学部 八事キャンパス（名古屋市天白区八事山150）

主催：一社 日本 TDM 学会

後援：一社 愛知県病院薬剤師会、三重県病院薬剤師会、静岡県病院薬剤師会、
岐阜県病院薬剤師会

協賛：数社の企業

参加費：TDM 会員 無料、非会員 1,500 円

参加予定人数：100 名（先着順：事前申し込みを必須とします）

代表世話人：三浦 崇則（安城更生病院、日本TDM学会教育担当理事）

運営事務局：万塩 裕之（安城更生病院薬剤部）

【プログラム】

12:30-12:35 開会挨拶 奥田 真弘（三重大学医学部附属病院 日本TDM学会理事）

12:35-13:20 巻頭講演（大学教員と病院薬剤師のパートナーシップ）

座長：名城大学薬学部薬学教育開発センター 長谷川 洋一

「薬剤師・臨床系教員の協働連携によるTDM研究活動のさらなる活性化」

演者：安城更生病院 教育研修・臨床研究支援センター 三浦 崇則

目的：病院薬剤師がTDMに関する研究活動をする際に臨床系教員とどのような協働連携をしたら発展的研究ができるのか・・・クリニカル・アカデミック・ジョイントワークショップに繋げる話題提供を目的とします。

13:20-15:10 スキルアップワークショップ（症例から学ぶ）

ナビゲーター：名古屋共立病院薬剤部 穂積 廣

ナビゲーター：安城更生病院薬剤部 万塩 裕之

「症例から治療に活かす薬物モニタリングとアセスメントを学ぶ」

目的：計算だけではないTDMの視点を意識することで、薬学的なアセスメントを充実させる方法を提案するワークショップです。大学で得たTDMの“知識”を処方監査から病棟業務、医師とのディスカッションにおいて活かせる実践的な“技術”に還元することを目的とします。

15:10-15:20 休憩

15:20-16:30 クリニカル・アカデミック・ジョイントワークショップ

（現場におけるTDM領域の問題点の提起と発展のためのワークショップ）

座長：

1グループ9名程度

目的：病院薬剤師がTDMに関する研究活動をする際に臨床系教員とどのような協働連携をしたら発展的研究ができるのか、また自院にTDMに関する指導者が不在の場合、ヒューマンネットワークをどのように築いてTDMを業務に活用するのか・・・などなど、今困っていることをグループのテーマとしてディスカッションし、情報の共有を目的とします。

16:30-17:20 特別講演

座長：愛知学院大学薬学部医療薬学科薬物動態学講座 浦野 公彦

演者：三重大学医学部附属病院薬剤部 准教授・副薬剤部長
岩本 卓也 先生

演題：TDMを活用した疑義照会、処方設計支援、そしてエビデンス構築

目的：若い薬剤師がTDMをフル活用した業務・研究の展開ができることを目的とします。

17:20-17:25 閉会挨拶

【申し込み方法】

下記申込先へ申し込みメール内容送信

必ず事前申し込みをしてください（当日参加は受け付けません）

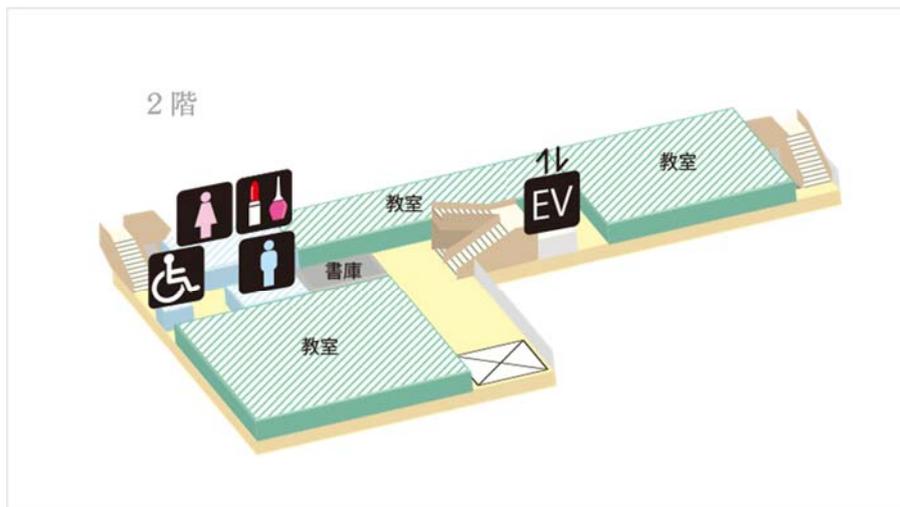
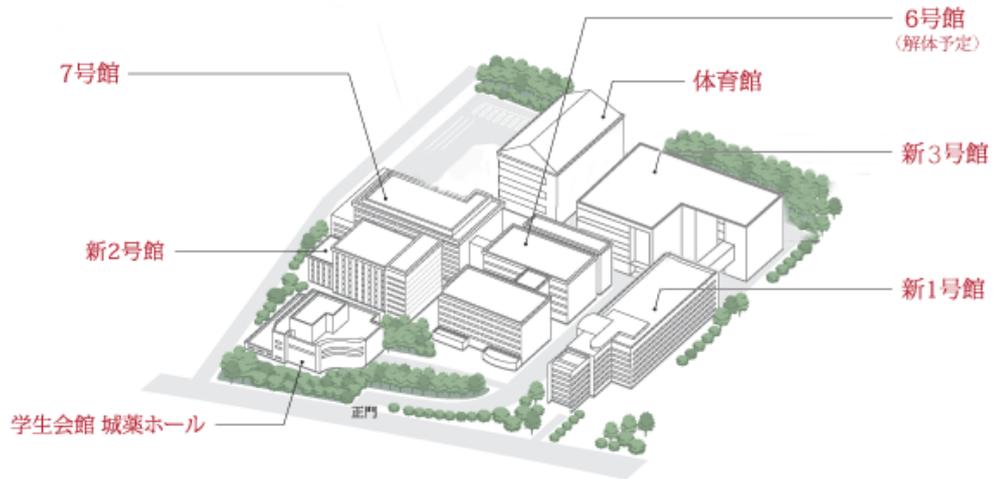
申込先(兼問い合わせ先)：tdm-seminar51st@kosei.anjo.aichi.jp（10月1日受付開始）

メール内容：題名（第51回TDMセミナー応募）

- ①御所属、②御氏名、③日本TDM学会員(可能な限り会員番号)又は非会員の別
- ④勤務年数⑤連絡先メールアドレス(参加の可否についてご連絡申し上げます)

【会場案内】

名城大学薬学部八事キャンパス新3号館2階



 HWC：多目的トイレ（車いすの方が使うトイレです）  パウダールーム